

# 瞳みのる

## メンバーと会わずに、生きてきた僕の人生」

武道館で行われた解散コンサートを終えると、その夜のうちに地元へ帰った。それ以降、一度も芸能界に戻ることなく、高校教師として生きてきた。引退後、初めてメディアに語った「その後の人生」。

### 未練はなかった

昔のことなのに、もう忘れようとしたはずなのに、思い出したように夢を見ることがある。「ザ・タイガース」の人気ドラマーだった自分のことを。

「僕は引退する時に、もう二度と芸能界には戻らない、タイガースのことはすっかり忘れようと思った。一人の普通の人間として自分に何ができるかを試したかったし、過去の成功を引きずっているとステップを大きく踏み出せないと思っただからね。メンバーからの連絡に返事もせず、30年以上会いもしなかった。

それなのに、頭の中には、あの時の記憶が強烈に残っている。夢の前身はなぜかいつも、遅刻しそうになって、「ステージに穴をあけち

た、こんなことを考えていた」ということを伝えたくなった。実は僕の妻は、息子が「元芸能人の子ども」と見られることをすごく嫌っていた。彼らが20歳になるまで、タイガースにいたことさえ話してはいけないと言われていてね。家ではただのしがたない親父です（笑）。そんな妻と2年前に離婚した。だから、そろそろ話してもいいかなと思うようになりました」

デビューする時には、瞳が一人上京して事務所と交渉した



初めて  
明かす

## 「30年以上もくもくと

瞳が住む中国・北京市内でインタビュー

民的スターにのぼりつめた5人組バンドだということ。は、言うまでもないだろう。71年の解散後、ポーカーだった沢田研二、ギタリストだった岸部一徳、森本太郎は新たなバンドを結成、途中からタイガースに参加した岸部シローは俳優業などに乗り出した。みなが芸能界に残る決断をする中、ただ一人、瞳みのるだけが本名の「人見豊」に戻って、別の進路を選ぶ。24歳の時のことだ。

かつて学んだ山城高校（京都府）の定時制に4年生として復学。たった1年の受験勉強を経て慶應大学文学部に合格し、卒業後は慶應義塾高校の国語の教師へ就職したのだ。

どうして教師だったのか。瞳が初めて明かす。「僕はタイガース時代に当

時の流行の最先端にいた作家や文化人が集まる『キャンテイ』という店に通っていたんですが、周りの会話についていけなかった。仕事で大人と話をしているも、自分には教養が足りないと痛感することが多かったんです。正直、芸能界にもウンザリしていたし、タイガースにも限界を感じていました。だから解散する1、2年前くらいから、「本気で何かを勉強したい」と思うようになった。事務所に一度、辞表も出しています。その時はつき返されたけど、将来の学費を稼いでおこうと給料を貯金し始めました」

### 坊主頭にして受験勉強

さっそく瞳は、「早稲田大学が慶應大学に絶対に受かる」という目標をたてた。

当時の月給は70万円ほど、辞める時には1000万円ほど貯まっていた。さらに解散コンサートの夜にあったこんな「秘話」を、瞳が教えてくれた。「実はコンサートを終えたその日の夜に、トラックに荷物を詰め込んで京都に帰ったんです。家に着いたらマスコミがいるんじゃないかと思って裏口からこそと入りましたが、誰もいない。その時は「やっ」と戻って来られた」ってホッとした。未練はない。早く高校に入り直して、大学に行って好きなだけ勉強して、研究者になりたかった」

ただ10代の頃は、音楽、麻雀、アルバイト漬けで勉強にはほとんど手をつけていない。父親も、「芸能界に残っていいば、まだ稼げるのに」と論じたほどだ。

それでも瞳は揺るがなかった。昨日までファンから黄色い声援を受けていた生活から一変、文字通り朝から晩まで勉強に明け暮れる

ザ・タイガースの人気ドラマーはなぜ、慶應高校の国語教師に転身したのか





「30年以上メンバーと会わずに、もくもくと生きてきた僕の人生」

一番左が瞳。森本太郎(左から4番目)とは小中学校、岸部一徳(左から2番目)とは中学校で同級生だった



ら、仕方なくペーパー試験を作った。ただ意味がないから、みんな100点を取れる試験にしたんです。そうしたら校長がカンカンに怒ってね。僕は1年きりで中国語の教師から外されて、漢文と古文に回された。結局、次の校長に替わるまで7年間も「干され続けた」。そして再び中国語の教師に復帰した時も、瞳は前と同じ授業方法で教えることにした。

「そうしたら数年後にはフランス語、ドイツ語じゃなくて、中国語を選択する生徒が一番多くなった。嬉しかったですよ。校長に言われたままやり方を変えていたら、生徒は集まってくれなかったと思います。タイガースを始める時の僕の夢は、「世界一のバンド

になること」と「億万長者になること」だったんです。でも両方とも達成できなかった。商業主義に走る事務所の方針をめぐってメンバーの意見が食い違って、バンド自体がバラバラになってしまったからです。これが今でも悔しい。自分の手でメンバーをまとめられたんじゃないか、妥協した自分がいたんじゃないかってね。だから、もう二度と後悔したくない。自分で決めたことは絶対に貫き通す。そ

う思って生きてきました」時には言葉にして、生徒達にこうも言ってきた。「お前たち、高校は義務教育じゃないんだぞ。ほかにやりたいことがあるなら、今すぐ教室から出て行ったほうがいい」お前たちが一生懸命になれるものを見つけて、それに打ち込んでくれたほうがよっぽど嬉しい。瞳は自分がそうだったように、生徒たちに正直な想いをぶつけてきたのだ。

と会い、こんな話をされたことにある。「彼が会うなり早々に、『悪かった』って言うんです。『事務所がメンバーをバラバラにして、タイガースを壊してしまった』って。それで僕は誤解していたと気付いた。彼も悪気はなかったんだって」さらに沢田、岸部、森本の3人が自分に向けた曲をNHKで演奏していたという話も耳に入ってきた。曲名は「Long Good by」。瞳が京都に向かう前、岸部に伝えた「一緒に帰ろう」という言葉をもとに3人が作った曲だった。素直に嬉しかった。マネージャーの誘いを受けてまず08年の冬に、沢田、岸部、森本の3人と会うことを決めた。再会の場所である渋谷の居酒屋に最初に現れたのは森本だった。「そうしたら太郎のやつ、いきなり泣き出してね。『会いたかった』って言うんです。沢田は緊張している様子で、こっちは『おうっ』って言った。『おうっ』って。それだけか、みたいな

一文無しになっても、僕だけは一流の研究者になつてやる」って思っていました。ただそれと同じくらい、僕が大学受験に落ちたとマスコミに書かれたらタイガースの名前を汚すという不安もあった。だから慶應に受かった時は心の底からホッとしました」

そんな折、一本の電話が学校にかかってくる。元メンバーからか、あるいはマネージャーからか、あるいは定かではない。ただ、「タイガース再結成」に関する話を話したい様子だという。「絶対に、取り次がないでくれ！」瞳はこれに、キレた。「解散から10年ほどで再結成かよって。沢田以外はそんなにうまくいってないこ

える学校だったから、いいかって」。武道館で何万人というファンを前に演奏していたのに、小さな教室で50人の生徒を前に教壇に立つようになつた。授業のある時間だけ学校に行き、あとは中国文化の研究をしたり、好きな中国ドラマを見たりして過ごす。お世辞にも派手とはいえない生活だ。

ね。岸部も寡黙だったけれど、2時間くらい話をしたら、あつという間にバンド結成当時に戻った。話題は、メンバーみんなでお世話になっていたゲイのタニマチの別荘に遊びに行った時の話とか、くだらないものばかりでしたよ」ずっと離れていたのに、こんなに早く打ち解けられる。進んできた道はそれぞれだが、「やっぱりこいつらは一生の友達なんだってわかりました」と瞳は言う。「沢田は天才。ずっと音楽を続けていく中で挫折もあつたろうけど、一本筋を突き通したのがあいつらしい。岸部は博才があるから、いつもどこからか仕事をみつけてくる。俳優として活躍しているのも、納得です。みんな同じように、苦しみながら必死に生きてきていたんです。それぞれがそれぞれの『元タイガース』を抱えながらね。再結成？ 確かに今ならみんなでもた世界一のバンドを作れるかもしれない。それで中国でライブができれば、最高ですね」(文中敬称略)

### 校長に反発して干された

とは知ってたけど、僕らのタイガースを汚すなって思ったら、つい」

苦しいのは自分が経験しているからよくわかる。それでも退路を断って、もがいて苦しんで、それぞれの道で成功してほしかった。瞳は自身を評して、「寡黙な教師だった」と語る。ただその教師時代の言動を聞けば聞くほど、言葉ではなく態度でメッセージを伝

えるタイプだったことがよくわかる。たとえば教師になつて3年目には、こんな「事件」を起こしている。開校以来初めて中国語の授業が開講されることになつた時、その第一号の教師として瞳が指名された。瞳は留学経験を生かして、発音を徹底的に教えることと決めた。ただ中間試験の時期になると、どんな試験を作っているのかわからない。校長がペーパー試験をやれと言うからだ。発音をどうやってペーパーにするのか、そんなことに意味はあるのか。考えあぐねた末、「ムリだ、やらない」。そう決めて、校長に反発した。「それでも校長は『絶対にやれ、規則だ』って言うか

## 「週刊現代」の公式ケータイサイト スクープ!! 週刊現代

「週刊現代」掲載の特集記事(ダズル)がまるごと読める!



吉高由里子「女王様体験」



今週のうまいもの番付! 美味情報はこちらで! 月額315円 http://wgen.jp/

新連載マンガスタート! 次号は新春合併号です。12月20日(月)発売 (一部地域を除く) 特別定価400円